

学校給食センター過大規模化

見直し求め請願署名を!!

現在、つくば市では学校給食センターの建替えを検討中です。H15新設の筑波センター以外の5センターを集約し、1万2千食のセンターを2ヶ所新築という計画です。

安全で衛生的な設備への建替えは大歓迎です。しかし大規模センターは調理時間が短くなり加工品の多用など質の低下が進むのでは？食育や地産地消の推進、アレルギー対応の充実が難しいのでは？——つくば・市民ネットワークでは「大規模化の弊害」を危惧しています。

望ましいあり方に逆行？

国は、H18食育推進基本計画やH21学校給食法改正で「食育の推進」を重視し、学校給食は自校式が望ましいという方針を変えています。また、昨年1月、長野市で1万2千食規模の学校給食センターで調

自校式学校給食の効果！

理員のノロウイルス感染による給食中止の際も、文科省は「規模が大きい分リスクは高い」と指摘しています。集約して1万2千食の大規模センター2ヶ所を新築するという効率優先の計画は食育推進やリスク回避に逆行しています。

市民ネットではセンターから自校方式へ切り替えた古河市を視察しました。調理現場が身近になり、「子ども達は感謝の気持ちで育ち、食べ残しが減少」「育てた作物を給食に食べ、食への関心を深めた」等、大きな変化が得られたとお話でした。また、調理員も子ども達の反応を直に感じられ、自然と調理に愛情がこもるなど数値では表せない効果が多々みられました。

市民ネットではこの報告会を機に、昨年末有志約30名で

「安全な学校給食を考える会」を立ち上げました。安全で美味しい給食はもとより、給食を有効に活用し、食育や地産地消が推進でき、アレルギーへも細やかな対応ができる学校給食を目指して活動を進めています。

請願署名活動中!!

会では様々な点が危惧されるこの計画を多くの人へ知らせ「現在の計画を一時中断し、学校給食のあり方を安全性と食育の視点から十分検討する、また、自校式と小規模センターを組み合わせた場合の費用や長所短所を試算検証するよう求める請願」を3月市議会へ提出しようと署名活動を始めています。ぜひ、よりよい学校給食を目指して、あなたの声を届けましょう！



新たな年を迎えて

新年おめでとうございます。昨年、本格的な政権交代が実現し国政ではこれまでの考へ方・手法があらゆる場面で変わりつつあるようです。特に税金の使い方について

市民に納税者に対し、わかりやすい言葉で説明責任を果たす—あるいは市民参加型（過程を公開）で進めようとする姿勢は、これまでの一部既得権者の利益保護とは一線を画する大転換です。

しかしながら、このような転換は地方自治においてこそ実現されなければなりません。そのためには、私たち市民が身近な生活の視点から税金の使い途の是非を直接行政に問い、政治参加の意識を高める必要があります。ぜひ、つくば・市民ネットワークの活動にご参加ください。生活の場から政治を変えていきましょう！



代表・阿部登代子

一般質問項目

1. 食育推進計画
2. 子ども・子育て総合センター
3. 学童保育
4. つくば市障害者計画
5. 市が管理する施設や道路の安全確保の為の工事

放課後児童クラブ

働きながら子育てできる環境を!

つくば市議会議員 せと ゆみこ
総務常任委員会所属 瀬戸 裕美子 の議会報告



つくば市には児童館を利用して行なわれている市営の児童クラブ（学童保育）が17ヶ所あります。しかし、児童館のない地域も多く、そこでは保護者が自主的に場所や指導員を確保して運営する民営児童クラブ、私立保育園等が運営する児童クラブがあります。入会を希望する児童は多く、希望通りに入れない状況があります。

保育料は、市営では一律4千円ですが、民営では市営と同じ保育内容でも料金に差が生じています。

これらは「同じつくば市民として不公平ではないか」という意見もあり、その現状と解決策について市にたずねました。

待機児童の解決策は?

待機児童の解消に、児童館の増築や学校の余裕教室の利用など考えられますが、実際には進んでいません。

市は、市営の場合「児童クラブに入れない待機中の

道路や施設の補修工事はどう決まる?

市主催の地区別懇談会はこれまで7地区で開催されたが、要望が多いのは道路の補修や拡幅だ。限られた予算の中で優先順位をつけ、市民の安全を確実に向上させるにはどうしたらよいだろう?



そのヒントに、京都府で始まった「府民公募型安心安全整備事業」がある。自治体の管理施設（道路、建物など）について「身近な安心・安全につながる小規模な改修工事や修繕工事」を誰でも提案でき、審査委員会がガイドラインに基づいて公開で審査する。提案書、審査経過や結果はHPで公表され、具体的には「道路の段差解消、舗装の補修、ガードレールや信号機の設置、建物の段差解消などのバリアフリー化」など、つくばでも要望が多い内容だ。

市民ネットでは、この方式を提案したが、「京都府のような手法を取り入れるのは難しい。地域の要望は区長に代表してお願いしており、用地の調整にも骨を折ってもらっている」との答弁。しかし解決できていない例も多い。公募方式にすれば、地域全体で課題を共有でき、解決方法も見つかるのではないだろうか?

児童も一般来館者として利用できる」と問題にしているのではないようです。しかし児童クラブに入っているか否かでは、保護者の安心感が違います。

民営の場合は、一般来館という制度はなく、入会できない児童には何らかの措置が必要な状態です。

市は「今後は現在検討中の児童福祉施設適正配置計画に沿って総合的に検討していく」としています。

子育て支援の充実を!

また、地域に市営の施設がないために民営を選び、その結果、保育料の負担が大きいと感じる人がいることも問題です。

つくば市は差額に対し補助はしないとのことですが、何らかの支援が必要だと思います。

少子高齢化に加え、経済状況の悪化などにより児童クラブの利用は今後も増える

ていくものと思われま。働きながらも、安心して子育てできるような支援が、これからもっと必要です。

子どもたちの放課後が豊かなものになるよう、指導者の確保も含め児童クラブの充実を働きかけていきます。





小中一貫教育 もっと議論が必要

ながい えつこ
つくば市議会議員 永井 悦子 の議会報告
環境経済常任委員会所属

一般質問項目

1. つくばの学校教育
2. 環境基本計画
3. 緊急雇用創出事業

なぜいま一貫教育か

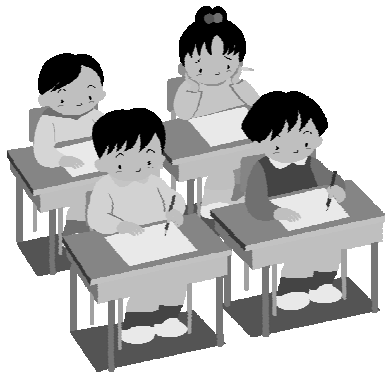
今年度から市内小中学校で実施される「小中一貫教育」は、小学校6年間と中学校3年間で切り離さず、9年間をトータルに考え教育するというものです。小中の連携強化、小学校高学年の教科担任制、一貫教育のカリキュラム編成など、一貫教育への移行によって児童生徒や教員を取り巻く環境は大きく変わると予想されます。

教育委員会は、一貫教育導入の目的に「環境が大きく変化する中学校入学時の生徒の負担を軽減し、不登校などの問題を解決する」という「中一ギャップ解消」を挙げています。しかし、現在つくば市で中一ギャップがどのくらい大きな問題となっているのか、教育現場は一貫教育を積極的に展開したいと思っているのか、何より子どもたちにとって最善の方法なのか、もう少し議論を深め検証する必要があります。

があるのではないかと考えます。

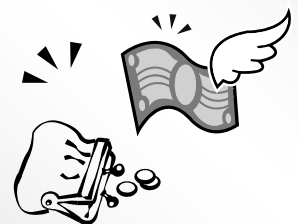
説明が二転三転…

そもそも教育委員会が「小中一貫教育」ということばを使ったのは、(仮)春日小中学校建設計画アンケートの中でした。その後計画を知った保護者の間で「春日小中が一貫校になるの?」「それは他の学校と違った教育なの?」など疑問の声が挙がったのです。その声を受け、一般質問で確認しましたが、**教育委員会の説明は二転三転し、一貫教育の全貌はこの2年間一向に明らかになりませんでした。**このことについて教育長は、「初めての試み



本当に景気対策になった?

前政権が景気対策を見込み、3年間で総額2兆円を投入した経済危機対策。その一つに、離職を余儀なくされた市民の雇用機会を緊急に確保する「緊急雇用創出事業」がある。原則6カ月未満の緊急雇用で3年間の補助が見込まれている。つくば市では今年度約2400万円をかけ8事業を創出。これまでに7事業21人の雇用があった。よくよく聞けば「離職を余儀なくされた」人ばかりでもないようだし、「6ヶ月未満では運用も難しい…」と市も苦しい答弁。「緊急雇用創出」の聞こえは良かったが、現場とのギャップがあまりにも大きく、景気対策にはほど遠い…。やっぱ、苦しまぎれのばら撒きーと揶揄されても仕方ない。付け焼き刃ではない効果的な対策を望む!



なので情報は小出しにしきれできない」と弁解ともとれる発言をしています。

しかし**正確な情報をその都度分かりやすく市民に提供することは、教育委員会の責務ではないでしょうか?**

オープンな議論を

子どもたちにとって本当に必要な教育環境とは何か、

それを実現するにはどうすればよいかと言うような議論は、**教育委員会内部だけでなく学校や地域や議会が連携しオープンに行うべきだ**と思います。そして**つくばの教育のあり方**を検討したうえで、**一貫教育を導入**することが**適当であるか**どうかの判断を行うべきなのではないでしょうか。

傍聴席から

私は「食品表示制度の抜本改正について国への意見書提出を求める請願」がどのように審議されるのかが知りたくて、12月14日環境経済委員会の傍聴をしました。

委員会・本会議とも市民の傍聴ができるのでとても良いと思いました。しかし、つくば市の事業に関する討議案件7件を担当する市役所の職員さんで椅子はほぼいっぱい。傍聴市民の座る場所の確保が必要だと思いました。

紹介議員の瀬戸裕美子議員から委員会メンバーに説明があり審議されました。国に対して出す意見の内容部分について、審議議員の中には誤解もありましたが、十分検討された上、継続審議案件となりました。

市民の声をとどける時、審議をする議員の皆さんに、お手紙だけでなく、肉声で伝えるなど審議の場に前に十分に理解を深めてもらうことが大切だと思います。その上で審議に臨んでいただければとても良いのではないかと思います。(松代 J. T)



つくば・市民ネットワークの主な活動報告

- 10/ 3 つくば生活クラブまつり共催
 - 10/ 6 古河市自校式学校給食見学
 - 10/10 学校給食学習会Ⅱ
 - 10/13・14 つくば市決算特別委員会傍聴
 - 10/30・11/3・6 市議会議員と話そう！会
 - 11/ 1 県南有機農業映画祭共催
 - 11/14 ハツ場ダムをストップさせる茨城の会総会参加
 - 11/28 大豆畑トラストつくば収穫祭
市政地区懇談会参加
 - 11/30～12/17 12月市議会
 - 11/19・20 つくば環境フェスティバル2009参加
 - 11/20 街頭議会報告
- ※その他、多数参加・傍聴（詳細はHPをご覧ください）



市議会議員と話そう会

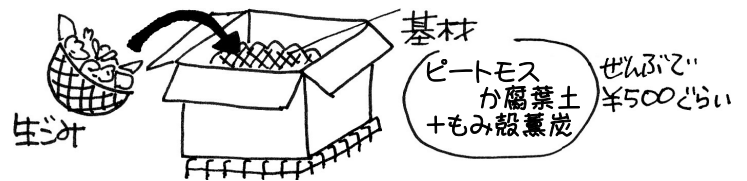
2月8日(月)10～12時 荃崎公民館

市議会議員の瀬戸裕美子と永井悦子とを交え、議会の報告、身近な問題について話し合います。

市民ネット 部会紹介① ごみ部会

昨年から活動を始めたごみ部会では何とかして“ごみを減らしたい”と活動中。ごみの中でも生ごみは家庭ごみの40～50%をしめていて、これがなくなるだけでごみが半分に！市の仕組みを整備する前に、まずは**自分で処理する人をふやそうと「段ボールコンポスト」に取り組み始めました。**

「段ボールコンポスト」とは段ボール箱の中に基材を敷き、それに生ごみを入れ、毎日まぜるだけで、生ごみが発酵し堆肥になるという簡易生ごみ処理器。



私は**始めてから5ヶ月、ごみ捨て回数も半分以下になり**約75kgの生ごみを市の回収に出さずにすんでいます。「段ボールがビシヤビシヤになるのでは？臭いは？あふれないの？」など疑問満載でしたが、適切に使えば全て解決できました\(^_^)/。

昨年、生活クラブまつりや環境フェスティバルで紹介をして利用者をドンドンふやしています。

部会では、剪定枝・落ち葉などの利用やプラスチック分別の調査、現在策定中のごみ処理計画の審議会傍聴・意見提出も行っています。**今年はさらに分別徹底の周知にとりくむ予定**です。ごみ部会活動に参加する方を募集中！関心のある方は、市民ネット事務所（電話859-0264）へご連絡を！

つくば・市民ネットワーク総会

2月14日(日)13時30分～16時
つくば国際会議場 会議室304号室

2010年の活動について協議します。
つくば・市民ネットワークでは随時会員募集しています。
当日入会・参加もできます。

ハツ場ダム学習会

なぜハツ場を止めるのか？

2月11日(祝木)14～16時

イーアスホール

講師：嶋津暉之氏
(水源開発問題全国連絡会 共同代表)

**意見交換会
開催準備中**

**公務員宿舎
跡地は
どうなる？**